

「生き物調査」への取り組み

矢板市乙畑環境保全協働隊代表 市村 謙作



矢板市には、多面的機能支払制度における活動の一端として、行政区ぐるみで「生き物調査」に取り組んでいる地区が複数あります。今回は「生き物調査」を世代間交流の促進と地域活性化に繋げようと奮闘する「乙畑地区」の活動組織代表、市村謙作さんにお話を伺いました。

ジュール分担をします。

また、対象の用水路にはゴミがあるので、調査前日に付近の土手の草刈りと清掃を念入りに行っています。その後、網など採集に必要な用具を用意して準備完了です。



それから、指導員の先生に実物およびスライドを使用し、それぞれの特徴や性別の見分け方などを教えてもらいます。

●どういった団体ですか？

この団体は、乙畑水利組合や子供会育成会など二十数人の役員で構成され、毎年夏休み前の日曜日に「生き物調査」を実施しています。総勢六十人程度の参加者がいます。

●事前準備はしていますか？

調査の実施にあたっては役員とスタッフの皆さんで事前会議を何度も行い、安全確認とスケ



●調査はどのように行われますか？

調査当日は、栃木県生き物調査指導員に二人来ていただき、採集の方法、注意点をアドバイスしてもらっています。その後、用水路

をせき止め、水路内に生き物を探集して、種類や生息数などを記録します。

●マップ作りはどのようにしていますか？

子どもたちが捕えた魚介類や昆虫類などの絵に描いたり、調査の感想を書いて、生き物マップに貼り付けていきます。

●参加者の様子はいかがでしたか？

「親子で川に入れるのが楽しみ」「自然と一体になり充実した時間を過ごせる」といった声が聞かれます。また子どもたちは、捕えた魚介類や昆虫類など、普

段経験できない貴重な体験ができ、魚への思い、河川愛護、自分たちの周辺環境の素晴らしさを感じたようです。この活動を実施して本当によかったと実感しています。

●将来への思い

河川の生き物たちの環境が徐々に悪化する中、これ

からも継続して生き物の生態系を観察・調査していき、環境保全の意識を高め同時に、生命の大切さも一緒に学んで欲しいです。

（M・W）

参加した子どもたちの感想

ザリガニを初めて捕まえました。（一年女子）

今日はお父さんと協力して魚や虫がいっぱい採れたので楽しかった。来年も生き物の勉強をしたいです。（三年女子）

私は、魚が眠るのを初めて知りました。カニのおなかの形でオスとメスを見分けられるのでびっくり（五年女子）

川で透明なエビや小さなシジミが採れてびっくりしました。（女子）

